

報道機関各位

熊本大学

パスツール研究所との部局間協定調印式および生殖工学技術研修会を開催しました

平成28年10月24日～28日の5日間、パスツール研究所において、熊本大学生命資源研究支援センターとパスツール研究所との部局間協定調印式（10月24日）および生殖工学技術研修会（10月24日～28日）を開催しました。

パスツール研究所は、1888年にパリに建てられた研究所で、微生物学、血清学、生物化学などの分野の研究者を集めた世界で最も権威のある研究所の一つとされています。

部局間協定調印式は、パスツールが執務を行っていた特別室で行われ、パスツール研究所の教育ディレクターである Dr. Monica Sala と中瀉直己教授（生命資源研究・支援センター 資源開発分野）が調印書を交わし、今後の両研究施設間での研究、教育、支援などの活発な国際交流を行うことを約束しました。

<http://cardipmouse2016.weebly.com/contents.html#sign1>

また、本協定に基づき、5日間にわたり、マウスを用いた体外受精、受精卵や精子の凍結保存などの生殖工学技術に関する研修会を主催しました。世界14カ国から24名の受講生が参加、技術習得に熱心に取り組みました（今回で海外研修は10回目）。本研修はこれまでに国内外で54回行い、極めて高い評価を受けております。

<http://cardipmouse2016.weebly.com/>

<http://www.mouse-ivf-training.com/archives/category/overseas>

さらに、当センターでは保存液、前培養液、体外受精培養液および超過剰排卵誘発剤などを開発、特許を取得、製品化を行っており、これらを用いた最先端の生殖工学技術は世界の多くの実験動物関係者に広く利用されています。

<http://www.kyudo.co.jp/fertiup.html>

https://www.cosmobio.com/contents/mouse_sperm_medium.html

【お問い合わせ先】

熊本大学 生命資源研究・支援センター

担当：中瀉直己

TEL：096-373-6564